



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9763 URL <http://www.mcm1-maruken.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清水 教博
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経営管理本部長 (氏名)齊藤 正視 (TEL) 03(5404)8200
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,916	15.5	241	62.6	448	46.0	420	49.3
25年3月期第2四半期	7,721	△9.9	148	△39.5	306	3.1	281	△12.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 533百万円(104.5%) 25年3月期第2四半期 260百万円(△13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.61	—
25年3月期第2四半期	8.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	29,516	8,866	30.0
25年3月期	29,505	8,434	28.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,866百万円 25年3月期 8,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00			
26年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	5.8	500	7.5	800	7.7	700	5.7	20.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	34,294,400株	25年3月期	34,294,400株
26年3月期2Q	936,964株	25年3月期	933,418株
26年3月期2Q	33,359,064株	25年3月期2Q	33,390,463株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における我が国経済は、経済・金融政策の効果による企業収益の改善や個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復の動きが見られるようになりました。

当社グループを取り巻く建設業界は、前年度同様に東北地方での震災復旧・復興関連事業や首都圏のインフラ整備等の大型プロジェクトが進捗する一方で、建設労働者や資材不足の懸念が出始めております。

このような経営環境のもと、当社グループは今年度から3ヶ年の中期経営計画がスタートし、国内では貸貸量が増加し、貸貸単価は適正な水準には至らないものの稼働率は改善傾向にあります。海外では、タイ丸建株式会社はタイ国の旺盛な建設需要を背景に引き続き好調に推移しており、グループ全体で収益基盤の強化を図りました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高89億1千6百万円（前年同四半期比11億9千4百万円、15.5%増）、営業利益2億4千1百万円（同9千3百万円、62.6%増）、経常利益4億4千8百万円（同1億4千1百万円、46.0%増）、四半期純利益4億2千万円（同1億3千8百万円、49.3%増）と増収増益になりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①重仮設事業

首都圏や東北地方を中心に貸貸稼働量、販売量共に増加したため、売上高は70億3千万円（前年同四半期比9億8千1百万円、16.2%増）、セグメント利益は4億9千万円（同1億3千1百万円、36.7%増）と増収増益になりました。

②重仮設工事事業

首都圏の大型建築工事が進捗したため、売上高は9億7千1百万円（同1億1千9百万円、14.1%増）、セグメント利益は1千8百万円（同9百万円、103.6%増）と増収増益になりました。

③土木・上下水道施設工事等事業

手持工事が進捗したため、売上高は9億1千5百万円（同9千3百万円、11.4%増）と増収になったものの、利益率の低下により、セグメント利益は3千2百万円（同1千9百万円、37.3%減）と減益になりました。

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産の部は、受取手形及び売掛金の減少額1億3千8百万円や建設機材の減少額1億4千3百万円があったものの、投資有価証券の増加額2億8千6百万円などにより、前期末比1千万円増の295億1千6百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の減少額4億4千6百万円などにより、前期末比4億2千1百万円減の206億4千9百万円となりました。

純資産の部は、四半期純利益4億2千万円の計上などにより、前期末比4億3千2百万円増の88億6千6百万円となり、自己資本比率は1.4ポイント増の30.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、2億9千8百万円（前年同四半期比2億1百万円減）となりました。これは税金等調整前四半期純利益4億4千8百万円の計上や売上債権の減少額1億3千8百万円、たな卸資産の減少額1億6千1百万円があった一方で、仕入債務の減少額4億4千6百万円などがあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、1千5百万円（前年同四半期は3百万円の資金の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、1億9千2百万円（前年同四半期比8億6千4百万円減）となりました。これは主に、短期借入金の返済や配当金の支払によるものであります。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、前期末比9千1百万円増の13億4千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成25年5月7日に公表しました平成26年3月期の通期連結業績予想数値を修正致します。詳細は、本日平成25年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,000	百万円 450	百万円 550	百万円 500	円 銭 14.98
今回修正予想 (B)	18,000	500	800	700	20.98
増減額 (B-A)	1,000	50	250	200	—
増減率 (%)	5.9	11.1	45.5	40.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	17,006	465	743	662	19.85

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257	1,348
受取手形及び売掛金	7,097	6,958
建設機材	9,083	8,939
商品	115	57
材料貯蔵品	294	294
未成工事支出金	30	69
その他	278	259
貸倒引当金	△95	△73
流動資産合計	18,061	17,854
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,087	8,058
その他(純額)	1,144	1,135
有形固定資産合計	9,231	9,193
無形固定資産		
	4	4
投資その他の資産		
その他	2,616	2,561
貸倒引当金	△408	△97
投資その他の資産合計	2,207	2,463
固定資産合計	11,443	11,661
資産合計	29,505	29,516

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,270	5,823
短期借入金	9,327	9,247
未払法人税等	68	33
引当金	21	36
その他	1,267	1,389
流動負債合計	16,955	16,530
固定負債		
長期借入金	2,689	2,703
引当金	187	174
その他	1,239	1,241
固定負債合計	4,115	4,118
負債合計	21,071	20,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	3,208	3,529
自己株式	△129	△130
株主資本合計	6,654	6,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	140
土地再評価差額金	1,820	1,820
為替換算調整勘定	△127	△69
その他の包括利益累計額合計	1,779	1,891
純資産合計	8,434	8,866
負債純資産合計	29,505	29,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,721	8,916
売上原価	6,578	7,647
売上総利益	1,143	1,268
販売費及び一般管理費		
役員報酬	69	67
給料手当及び賞与	458	487
福利厚生費	99	104
地代家賃	86	87
退職給付費用	40	42
その他	240	238
販売費及び一般管理費合計	994	1,026
営業利益	148	241
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
持分法による投資利益	127	197
貸倒引当金戻入額	6	30
訴訟損失引当金戻入額	61	—
その他	19	29
営業外収益合計	220	263
営業外費用		
支払利息	52	45
その他	10	11
営業外費用合計	62	57
経常利益	306	448
特別利益		
固定資産売却益	9	—
特別利益合計	9	—
税金等調整前四半期純利益	316	448
法人税、住民税及び事業税	34	23
法人税等調整額	△0	4
法人税等合計	34	27
少数株主損益調整前四半期純利益	281	420
四半期純利益	281	420

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	281	420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	54
持分法適用会社に対する持分相当額	7	57
その他の包括利益合計	△21	112
四半期包括利益	260	533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260	533
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	316	448
減価償却費	87	79
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△14	△12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	12
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	—	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	△333
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	△72	—
受取利息及び受取配当金	△5	△6
支払利息	52	45
持分法による投資損益 (△は益)	△127	△197
有形固定資産売却損益 (△は益)	△9	—
売上債権の増減額 (△は増加)	865	138
たな卸資産の増減額 (△は増加)	239	161
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	91	13
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	2	313
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,018	△446
未払消費税等の増減額 (△は減少)	46	△1
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	101	123
その他	△10	△8
小計	543	341
利息及び配当金の受取額	37	59
利息の支払額	△53	△47
法人税等の支払額	△27	△55
営業活動によるキャッシュ・フロー	500	298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	0
有形固定資産の取得による支出	△8	△35
有形固定資産の売却による収入	10	29
有形固定資産の除却による支出	—	△7
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	1	—
その他	0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	3	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△650	△120
長期借入れによる収入	400	1,200
長期借入金の返済による支出	△721	△1,146
リース債務の返済による支出	△19	△26
配当金の支払額	△66	△99
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,056	△192
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△553	91
現金及び現金同等物の期首残高	1,287	1,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	734	1,348

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,048	852	821	7,721	—	7,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	6,048	852	821	7,722	△0	7,721
セグメント利益	359	8	52	420	△271	148

(注) 1 セグメント利益の調整額△271百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,029	971	915	8,916	—	8,916
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	—	1	△1	—
計	7,030	971	915	8,917	△1	8,916
セグメント利益	490	18	32	542	△300	241

(注) 1 セグメント利益の調整額△300百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。